

2025 年 12 月 1 日

加盟団体各位

ユネスコスクール校長様 ESD・SDGs 担当者様

教育委員会、企業、NPO・NGO 担当者様

e ラーニング教材制作協力者各位

関係者各位

北陸 ESD 推進コンソーシアム事務局長  
加藤隆弘（金沢大学教職実践研究科）

## 2025 年度 北陸ユネスコスクール ESD・SDGs 教育実践交流会開催案内について

拝啓 皆様におかれては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。今年度もここまで、北陸 ESD 推進コンソーシアムの活動にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、R6 能登半島地震を受け、ここまで被災、復旧、復興のプロセスや必要な支援等から学びにつなぐべく教育現場ではその努力が進められてきています。各教育現場においては多くの取り組みが行われてきており、それらの実践について共有することが重要な時期となっております。また、これからの災害については、気候変動など地球規模で起きている問題とそれによる災害の激甚化なども課題となっております。また、地盤の液状化被害や、地震の後の 9 月に発生した豪雨災害による二重被災などから一層の教育内容の充実が求められています。

そこで、今回の実践交流会では昨年度と同様に、今年度進めてきている能登半島地震に学び次につなぐ ESD・SDGs オンライン講座と兼ねて開催いたします。テーマを「R6 能登半島地震に学ぶⅡ—地域のレジリエンス強化と教育のレジリエンス」として、地域のレジリエンスを強化するために欠かせない教育（教育のレジリエンス）について、実践交流並びに基調講演を内容とした実践交流会としていきたいと考えております。

つきましては、標記実践交流会を下記の通り開催いたしますので、管下の教員、職員の方々に周知いただきますようお願い申し上げます。多くの方のご参加並びに実践発表をお待ちしております。

敬具

### 記

#### ○北陸ユネスコスクール教育実践交流会（概要）

【主催】 北陸 ESD 推進コンソーシアム

【共催】 石川県ユネスコ協会

【後援】 （予定）ESD 活動支援（全国）センター 中部 ESD 活動支援センター

金沢市教育委員会、富山市教育委員会、勝山市教育委員会

JICA 北陸、エコプランふくい、富山ユネスコ協会、ふくいユネスコ協会

【テーマ】 R6 能登半島地震に学ぶⅡ—地域のレジリエンス強化と教育のレジリエンス

【日時】 2025 年 12 月 13 日（土）13：30～15：30

【場所】 しいのき迎賓館「セミナールーム A」（対面）とオンライン（Zoom）によるハイブリッド

【内容】 1 記念講演：仮題「能登半島地震の被災状況から学ぶ」

石川県立大学特任教授、石川県立自然史資料館館長 柳井清治

2. 北陸のユネスコスクール等の実践発表

・石川県の実践：「自然と人間が共に生きるために～人の命を守ろうプロジェクト～」

白山市立明光小学校 教諭 田中哲也

- ・富山県の実践：「本気で取り組み、多様性を認め合える仲間を目指して」  
—城端小学校 1 年生生活科の実践から—  
南砺市教育委員会 教育長 松本謙一 氏

3. 全体交流（意見交換・質疑応答）

4. まとめ講評 金沢大学准教授 加藤隆弘

富山大学学長特命補佐 成瀬善則

【参加対象者】 北陸や他地域のユネスコスクール及び SDGs・ESD に関心がる学校、団体、個人

【連絡事項】

※教育実践報告の募集：応募の締め切りは、12 月 11 日（木）までに、事務局までご連絡  
ください。

北陸 ESD 推進コンソーシアム事務局 E-mail: hokuriku.esd@gmail.com

※参加申し込み：下記の登録用 URL から登録願います。オンライン参加の方  
は、当日までに Zoom アクセス情報が送信されます。

※参加登録の締め切りは 12 月 12 日（金）です。

参加登録: <https://forms.gle/hbrCRuiNutqTBrF27>



（連絡先）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学人間社会 3 号館 1313 研究室

E-mail: hokuriku.esd@gmail.com

TEL: (076)264-5605